

**問** 地域生き活きサロンを市内全自治会で開催できないか

**答** 地域生き活きサロンが市内全域に広がるように周知と啓発に努める

**防災減災対応について**

**問** マイタイムラインを市民全体で作成し、市民の災害への意識の醸成を図ることはできないか。

**答** マイタイムラインは、これから起こるかもしれない災害に対し、住民一人一人が「いつ」「誰が」「何を

するの」を時系列で整理した個人レベルの防災行動計画であり、日頃からマイタイムラインを確認することで、個々の防災意識の向上と災害発生時の確な判断、行動につながる有効なツールであると捉えている。



災害時の行動や判断のサポートツール「マイタイムライン」で災害への備えを

**質問した項目**

- 消費増税への対策について ■防災減災対応について
- 海洋プラスチック対策について ■畜産の病気対策について
- 高齢者等への対策について

兎澤 祐一 議員  
(鹿真会・公明)



**問** 他市に先駆けて、スマート農業の効果検証事業に取り組む考えはないか

**答** 国の情報を収集し、農業農村支援機構のセミナー等で農業者へ情報提供を行う

**福祉対策について**

**問** 団塊の世代が後期高齢者となる数年後は、福祉介護の対応施策が心配されるが、本市の老人福祉施設や介護士の実態はどのような状況にあるのか。

**答** 4月1日現在の地域密着型を含む特別養護老人ホームの入所定員は、6施設の合計で333人となっており、昨年10月に実施した調査によると、要介護度3以上の入所待機者の人数は94人となっている。また、介護士などをはじめとした介護人材の状況は、老人福祉施設を含む介護事業所の多くで人材が不足しているものと認識しており、国の推計によると、2025年には秋田県内で約3600人の介護人材が不足するとされ、本市においても将来的に人材不足がより深刻になり、運営が困難となる事業所も現れてくるものと危惧している。

今後の取り組みとしては、県やハローワークなどの関係機関と連携し、「介護のしごとフェア」を継続開催するほか、今年度創設した求人活動支援補助金や、高校生が介護職員初任者研修を受講する際の補助率のかさ上げなど、各種支援策を推進しながら、介護人材の確保に取り組んでいく。

田中 孝一 議員  
(清風会)

**質問した項目**

- 農業振興対策について ■福祉対策について
- 自殺予防対策について ■少子化対策について
- 防災対策について

